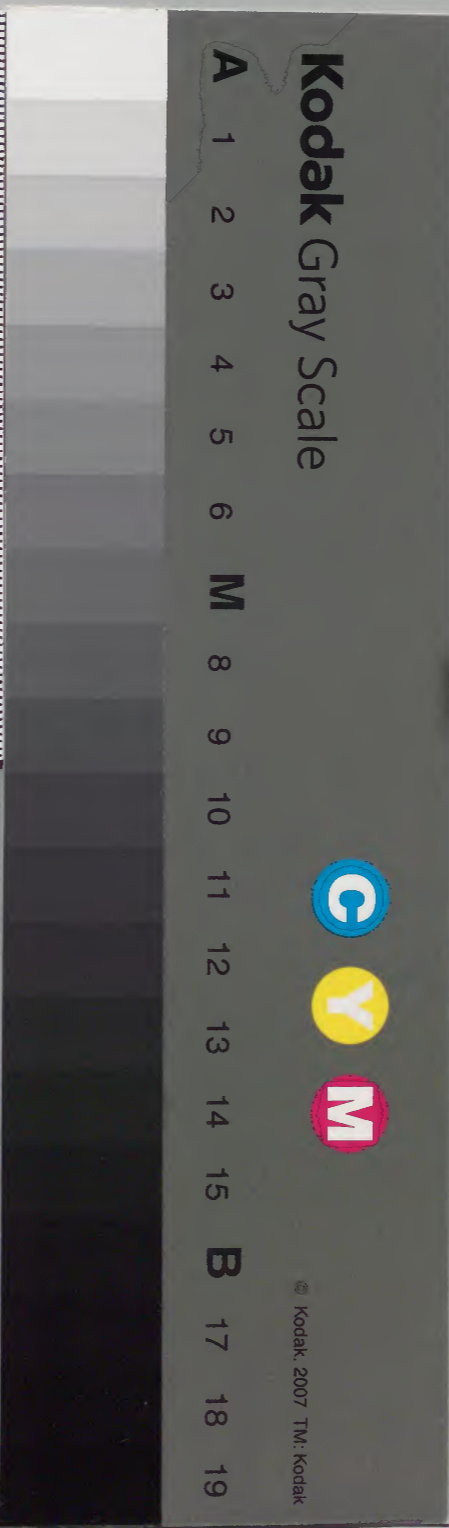


唐土訓蒙圖彙 卷之十三
禽獸

唐土訓蒙圖彙 卷之十二
草木之下

唐土訓蒙圖彙 卷之十一
草木之上

内閣文庫		内 和 書
番號	和 27990	
冊數	11 (10)	
函號	184 358	



綴じ部(喉部分)の文字など開きが不鮮明な箇所あり

唐土訓蒙圖彙卷之十一 艸

草木

此部は山石草蔓草の類としくく
のまては

著目

生蒿のこくつか

子三十より四六十

葉はいろ秋むき

白も多くおは

少くはと並

用神草なり

鉄掃帚

中にも一を二三

十茎地ふ然て

二三人葉首宿り

似たりなり林にて

むさくお紫色

和名

ハ

コ

モ

和名

ノ

ハ

ト

キ

和名

草

ニ

ア

ル

ナ

カ

ハ

ト

ナ



美人蕉
葉蘊の
色は丹
中心一
葉其
と生

石上
と佳
此草
倍



黄精 三月

苗生尺高二三人
葉竹の如くして
ろーあーお射す
ゆがー白心を
ひらふ子森の如く
根生善の



和名カラスユリ

葉

せくしてむく表
白く裏まー莖
竹の如く葉の間
花とひらく例
のこく實と格
まうせひの類し

柴胡 苗生

して甚香ー莖
まひ葉として葉
竹より又蒿に
似たり又冬に
似て短ものなり



黄茺日

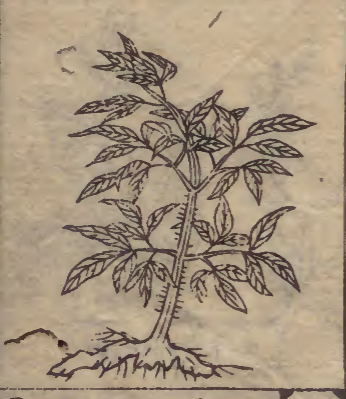
根系に似てわ
まはあむといら
小角といふ又蕨
藜に似たり根
の長と二三尺

人參 春苗

と生して三四月
花よく細小
紫白色色味
りりて子と結
根人の形と神

玄參 春

苗と生して莖
色より七月
花と開くま
色し八月実と
結ぶ黒色し



黄芩 叢

生高一尺より又
独莖の如くあり
葉細長くあわ
對し六月実む
と開く根知母乃



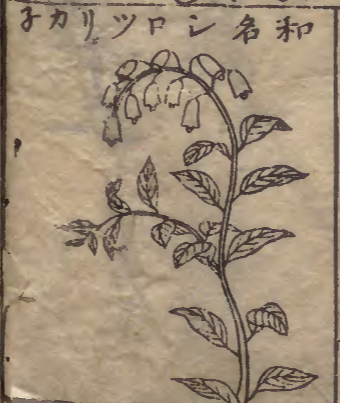
天麻 苗の

初て出づ若葉の
独莖と抽
て直より高
二三尺箭藪の
故に根
とあつた莖ま
ふとつた莖ま



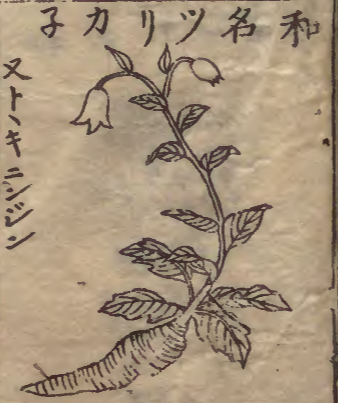
薺 苗生

都て人參に似
葉小く根異
桔梗根に似
心より
又白あり



沙參 苗生

して一尺二尺叢
崖壁の間に
あり葉枸杞に
似て又牙あり
七月は実と開



丹參 苗生

して高一尺より
莖幹方稜
厚荷のこく
て毛あり三
月花といらく
赤い色か



紫參 苗長

して一尺莖ま
く細葉槐に似
又羊蹄に似
もあり五月花
開て白く又赤
の者あり



拳参 葉

羊蹄に似て根ハ
海艸に似て区

杏参 根ハ

小葉根に似り

耳草 苗生

して二三尺葉
櫻の如く七月迄

花と用く奈に
似り子と併て

角子とケセり

知母 四月

多むと用く

蕤花の如くハ
月実とひま

根黄色 莖赤
似て柔潤し

徐長卿 苗の

さ二三尺葉柳
に似て細く尖り小

花とひりて尖
角兒とひま根

細辛に似く香
氣も同し

淫羊藿 葉ハ

杏に似て上は刺
わりて粟稗乃

根はあま
四月白むといら

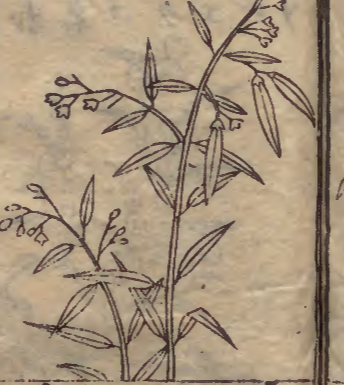
く又此ふさそり
もわり

貫衆 苗生

して赤く葉大
蕨の如く 莖幹

三稜葉綠色小
鶏の翅に似り

和名ヤミナクサ
ウラジロカ
ホナガ



貝母 葉ハ

蓄麦に似て七月
花と用く葉白

色根貝子を
あつひらふ如し故

又名つ救世

前胡 葉苗

と生し青白色
蒿に似り初め

白芽長三四寸
甚香羨し一様

柴胡と當歸
似りわり

升麻 苗生

して二三尺葉
葉麻に似て三

月とむといり
白と葉あり大

小三稜あり小ハ
園中よくて上

仙菜 葉

まして芽の如く
軟に復積溜

一面に縦理を
三月花開て施

子の如く実を
ひとらん

白頭翁 苗生

狀白薇の如く
長して莖葉白

毛あり根のをさ
取に白草ありて

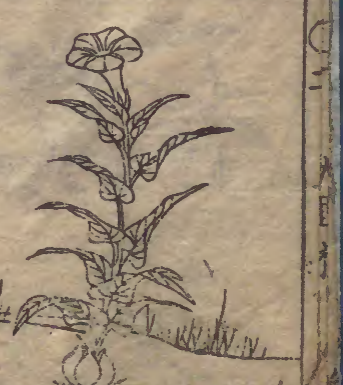
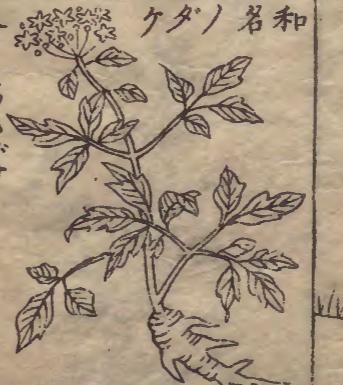
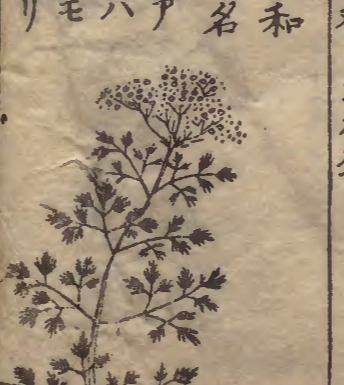
白乳の老翁に似

白前 苗ハ

細辛に似て大
色白く易し

亦葉の柳に似
りも葉花

似りもわり



白及 薯蕷

一丈許 薯蕷の
莖に似たり 莖の
端に一莖と生し
夏むといらふ
七月実と
結ぶ 白むとわり

白鮮 苗生

七高八條あり
四月花と用て
淡紫色 小蜀葵
に似たり 根ハ蔓
菁 二似り 皮ハ色
黄白なり

白甘微 葉柳

葉類ハ六月
紅花と用く 八月
実と結ぶ 根
黄色 牛膝
類と短し

胡黄連 胡国

一生ハ今慶に
わり 初生 莖ハ
似たり 乾てハ揚
柳の枯枝に似り
心黒く 外黄し

黄連 苗ハ

茶に似て 叢生に
一莖三葉と生し
冬も凋れんば 葉
色ハ所より 花葉の容ハ

紫五口 葉ハ

秋冬に似て 大
く 深き 葉ハ
花と似ら 山崖
岩向に多し
と 魚毒とけり

和名シラ



和名クハ



和名クハ



和名クハ



和名クハ



和名クハ



地榆 宿根

一丈生 高三四
尺 葉狭細
鋸葉 七月
花といらふ

平地木 高尺

子甚おこ 多ハ
出處に
よみて 生に

茅藤 葉ハ

竹の 子と枝
葉下 生に
赤と 丹砂乃
相雪
松雨の中 用く

金苔 一名

高良 善 紫白 金
葉の 三色 あり
諺曰 不常 金葉
花 不得 入 仙家
と あり

秋牡丹 一名

秋に 花 咲く
初に 深紅 して 後
淡おつ 花ハ
似たり 葉ハ 三岐
ありて 生に

三七 山漆 春苗

と 生し 夏 三
四 八 葉 茂 び 似て
厚 一 秋 葉 枯
といら 故 三七
と あり

和名ウカモ



和名チタ



和名カ



和名カ



和名カ



和名カ



萬年青 葉ハ

蕙花ハ似て短
く厚シ冬ニ
枯ラズと朱葉
ありともむし
ハ

金星草 葉青

多く背陰の石上
に生れ葉長二三
尺又ニ至て背
上ニ黄星點子
と生れ兩ニお
し銀色の

骨碎補 根大

木に生一或ハ石
上多くハ背陰の
處ニありこれハ
名ハ孫姜と云
折傷と主治ハ
い

石莖 莖葉

青くささ一人
り葉水柳乃
く短く多くハ
河岸沙石の
上に生れ

崖櫻 苗の

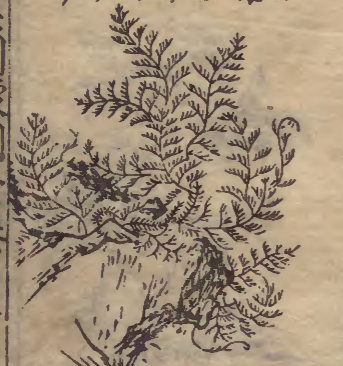
高一人己来四
季をわりの其
根と用

心

石長生 葉ハ

蕨ハ似又檜ハ似
多ハ山陰石岩
の下に生れ
世に長生とし
こもくり生
あ

和名トモラ



景天 葉ハ

馬齒莧とて大ニ
少ニもつと
昔より懐火薬と
一物と云ハ同ニ
ら大ニ倍

紫背金盤 苗の

高さ一尺くろ
葉の背紫
花ハ根を
とにぬ

地錦草 苗葉

細弱して蔓
とて地ニ遍
一莖赤く葉
青一中夏後
盛

當歸 春

苗と生一葉
緑して三瓣
わり七八月
とひら

肉豆蔻 胡国

より出つ今嶺南
人家とれとう
花實豆蔻
似て圓く小皮
紫ニ内の肉辛

白豆蔻 苗ハ

芭蕉ニ類
杜若ニ似て長八
九尺と光潤
冬夏潤きん
淡黄色実わり

和名ヘンケイ



白芷 葉

相對一葉紫色
潤さ三指と有り
花白く微黄
伏口に入て実と
結ひまねのら

蓬莪 昂

莪木之高二三尺
葉青白色長一
二尺葉荷ノ類
五月花わり
穂とわね根ハ生
姜のくくナリ

京三稜 春苗

と生ハ高三四尺
葉蒲葉に似
三稜わり五
六月花と開
草に似

赤芍薬 葉

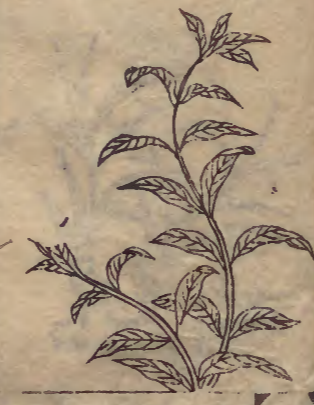
麻の如くあり
對ハ氣ハ藤
蕪の如し七月
花と開てま
かり

獨頭蘭 葉

蘭と似て小
白じといら
赤脚長鬚の
鬚とてふ

茅香 三月

苗と生して大
又似て五月
花と開く又
又空の
わら



華撥 葉

生高三四尺葉
圓く潤二三寸葉
の如し三月白
と開く七月子
踏ふ搥ふ

鬱金 四月

苗と生し葉黄
と似く花白
紅かり実
根黄赤

補骨脂 昂破

故紙かり莖乃
高三四尺葉
葉荷に似て微
紫色實ハ麻
みのく圓

木香 葉

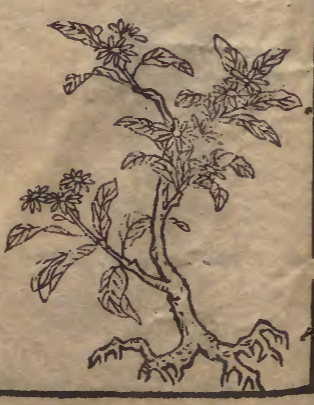
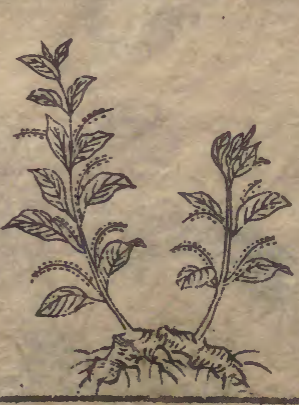
羊蹄と似て長
大に花ハ菊の如
又葉山の芋
乃とく此の如
開く者わり根の
形格思

杜若 江湖

と生ハ葉ハ毒
と似て花赤色根
赤葉と似て小
か野徑

甘沙草 昂

香附子と田
凌これわり葉
三稜と似て根ハ
附子のく



薄荷

葉

樹に似て光長
冬と春て根死
すして夏生に
夏秋莖葉と
より暴乾

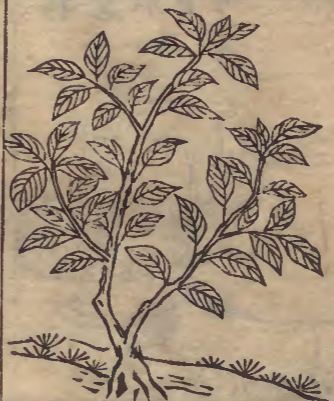


益智 葉ハ
莖葉に似て高
丈餘其根の旁
一小枝と生に其
花莖ハ穂と成
子ハ葉のと

菘萑香

葉

葉に似て小く
六月より
豆と菘と似ハ
形似る故に
和ニアルハ藥ニ用テ
ヨロシカラス



高良薑 葉ハ
三四人三月を
と用て根下に
あり五六月突
と

高良薑

春苗

と生に莖葉莖
苗の如く大なり
高一二尺より
花ハ紫色山
姜の



甘松香

葉

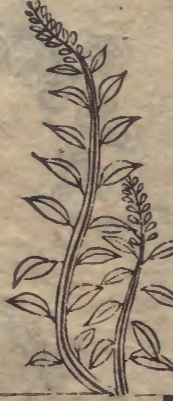
生に葉細く七
葉草に似り根
極て細小家
八月採て湯浴
すれと香



香薷

葉

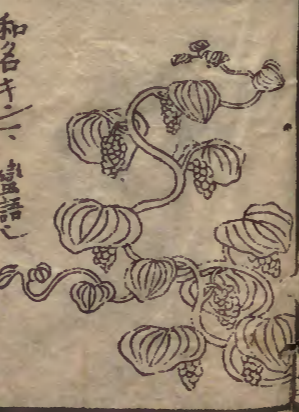
葉に似て葉更
よ細く十月
より一ハ香薷
と作



荊蒿

木

緑て生に其子
葉の長三寸密
と蔵く食に辛
く香



茉莉

花

春末より開て
香あり花白千
葉のよわり植
て純障と



天門冬

葉

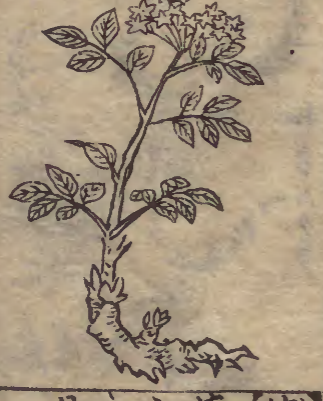
生て一丈
葉のよわり葉
苗香のよ逆
刺わり刺死
わりな花咲



藁本

葉

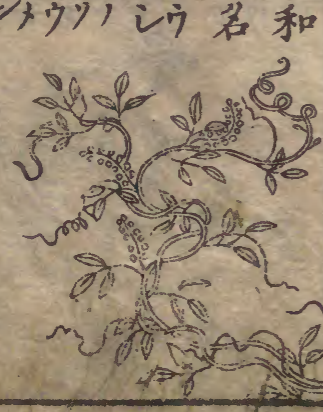
白止に似て香ハ
甚芳葉に似て細
五月白をと用
七八月子と根
根紫色なり



菴絲子

夏

苗と生に絲の
とく草木乃
うはひく六七
月子と根



和名シウノウ

和名サクルヘス

和名キニ

律草 葉ハ

葛麻のくくりにして小く細刺あり花黄白こ子も麻子に類し猪殃殃一名

白薬 苗ハ

苦苣 似て四月より赤莖長く蒴蘆に似たり六月白むと開き八月子といふ

紫葍 春生

夏枯の蒲葍に似て紫色長丈大者徑二三寸紫莖葉に似て根皮もに紫色こ

使君子 三月

花と生して淡紅を久して深紅を五瓣あり六月実と結み大い抱子は数と

纏枝牡丹 枝字

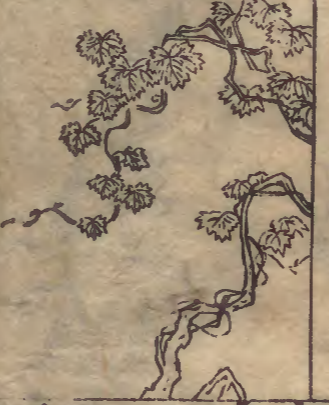
して倚瀾を生む牡丹の態度ありて甚小葉に纏りて花開ハ細花とて花就わり

鉄線 鏡

州に生れ三月根ととり用の土人腫毒を消し



和名ムグラ



和名カノリ

赤地利 春夏

苗と生し蔓をなす草木の上とまきく莖赤く葉多く蒼翠あり似り七月白むといふ花は下の葉あり

顔知子 蔓

生大木の上りよ葉緑く三角あり面く北背深し七月実あり

千里光 葉ハ

菊に似く枝長幹圓くして背に毛あり秋葉葉と生して花あり黄色

馬兜鈴 苗生

て蔓の如く葉山芋に似り六月実と開七月実と結み大さ終乃し

天壽根 台効

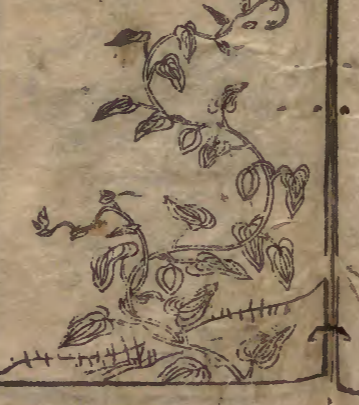
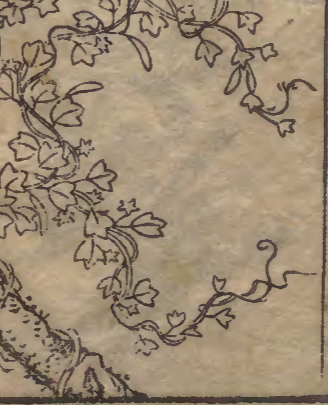
に生れ毎歳土貢りて性涼く甚胸膈の煩熱と治す

威靈仙 生り

と衆草に比し七最光葉柳に似て層て車輪の式張白と名



和名イカ



和名イカ

白英 蔓

生うて葉多
く白毛わり夏
花されどかな
その実おねとへ
て赤

何首烏 春苗

と生れ山芋の根
其蔓竹木に延べ
夏秋黄白花と
同く子に稜わり
秋冬根と
大ハ拳の

蕃薯 以後

迎きよるる
さうて利多し合
して味よく人
をありうり法ハ
をすり

南瓜 實

ひすふ圓うて
西瓜のくく色赤
くも大蔓
しひあ

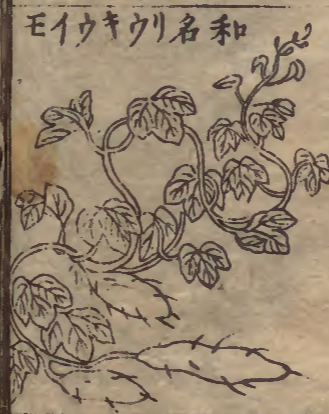
金我鳥足虫 瓜の

色淡黄うて形
我鳥の卵の
味ふ其美なり
童兒のしあそび
顔とあくものこ

西瓜 實

絡ふ圓大と飽
のくく色まぶの
如し子冷色又
黒さわり
○子赤ラカラ上云
形少小ブリナリ

唐土諸物圖景卷十



通草 木通

葉石葦ニ似
三葉相對
花白く實米
此の如くうら
取羨なり

眉兒豆 蔓

とうふ秋の事
りりり實多
一花紫なり
実くまるとこ
かよひの
八月より用
一粒小棍の如
なりわり

山豆根 蔓

豆根のこ
まく冬に潤
八月より用
一粒小棍の如
なりわり

掛樓 蔓

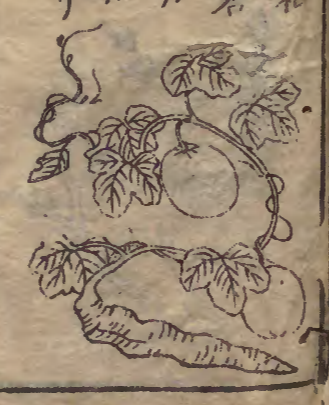
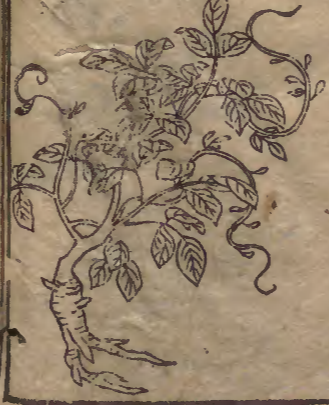
生にして甜瓜
の如く細花七
月より實じ
の下に在る拳の

菘羅摩 藤

生うて厚し
あれとつるし
けわり子ハ瓢
形ニ素許あり
名羊角菜

石南藤 天台

山中に生れ其
苗のびて木上
とまふ四時
かまふ



獨用藤 施刃

に生け四時葉
わりの花を
葉上に刺し
わりの二時



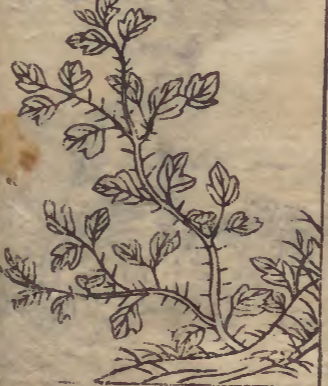
瓜藤 四時

葉わりの花を
ごりに
時を



會春藤 台刃

に生け苗蔓を
木上こまこま
冬夏青一土
人葉とわりの
葉入るこ



祢波藤 天台

山中に生け其苗
蔓て木上とぬ
よ四時わりの
わりの土人其葉
と



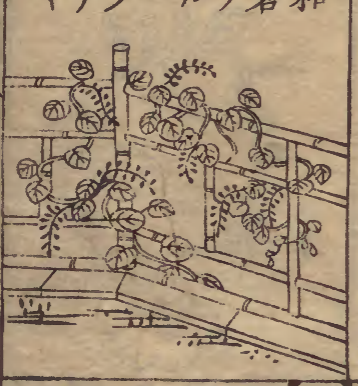
列節 苗葉

俱に丁公藤に
似り花実を
九月より
と



落葵 雞垣

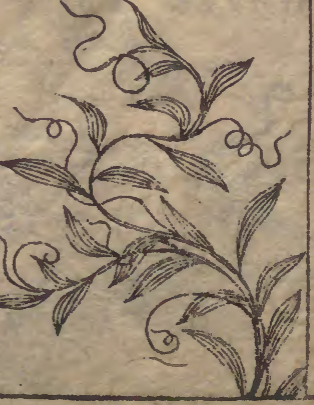
蔓延て七月
の比蕃花なり
葉圓て光潤あり
肉熱し冷へ
實熱し冷へ



和名ルツムラサキ

血藤 葉

蒲蘭の如く
根ハ大柵指乃
如く其色黄
かり五月は



鉤藤 葉

細長く節間
に刺わりの
鉤の



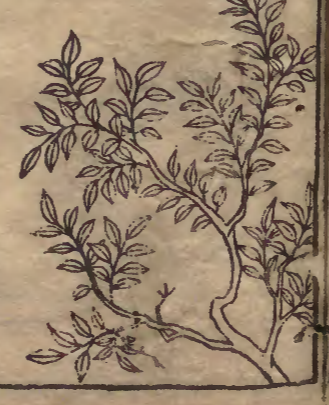
百稜藤 台刃

に生け春苗を
生け蔓て木上
とまこま花を
葉入り冬皮を
とりて葉入る



落鳳木 蔓

生て木とぬ
と葉形茶に
似り花實を
四月より
と



百部 春苗

と生一茴香葉
うてゆりうり
二入ころ実と
ひりりりり



石合草 其苗

木とまこま四時
葉わりの味なし
その葉乃味草
とりにりり



和名キキチカシ

我鳥抱 山林

の中石に附て
生一蔓と云
葉大豆に似く
根ハ菜服上
似より大小あり

木鼈子 春苗

と生一莖と云
四月黄びと生
六月實と結ぶ
松葉に似て大
其核鼈に似
ゆへ名つこし

千歳薬 葉ハ

薔薇うてその
莖白汁わすて
煎し六月と
ひらと七月ま

麻黄

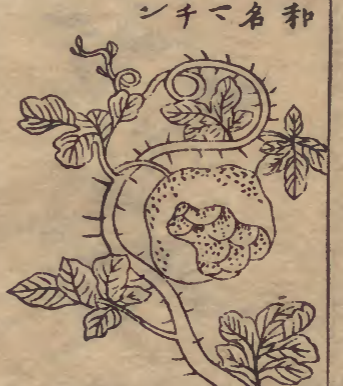
苗と生一夏長
一て一尺と云
上に葉むわり
実と倍て百合
辨の

地黄 二月

葉と生一七地
布て車前
似より葉上り
離文わつ花
沈麻花に似て
此葉かり

葫蘆巴 春苗

と生一夏子と結
秋至てこれと
此種海南諸
番に出



唐土訓家園景卷十一

乳根 蔓生

みて長さ二三尺
莖葉は少くして三葉
あり莖と乃白
汁出つ根ハ蘿蔔
のくくして細く
又丸くもわらわら
此と備

大青 苗高

三尺より莖石
竹ノ類一葉圓
長色石紫より
馬薺に似たり
根黄色かり

小五月 三月

花と生れを乃
月葉と云福
州の人封して
破く瘰癧
を治に

紫芥

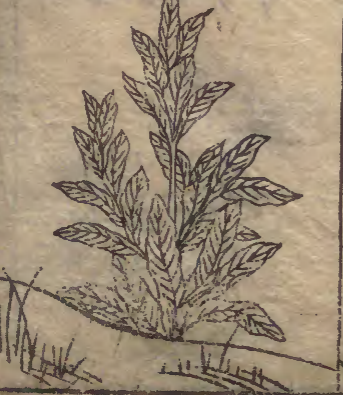
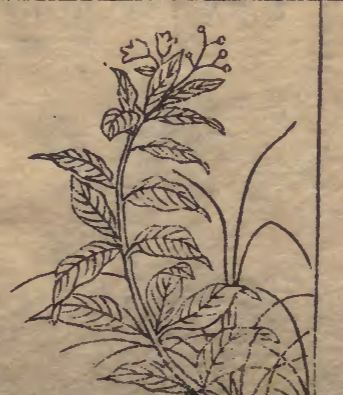
生一葉葉三四
相つかり五六月
のうらに葉紫白
花とかり實と
倍て一根と

雞腿兒 苗の

高七八寸細く
鋸齒硬厚く背
白一黄びと兩
根ハ指の太り
一名ハ翻白草

九牛脚 二月

苗生一独莖
高一尺葉艾ノ
似て圓く長一
背に白毛あり
面青



生英 春苗

と抽て莖子節
あり節の同枝
葉と生は入り
水芹と似る春
夏菜とよみ

水英 池沢

及の河海をに
生は海人呼て
牛蒡人蜀郡
の人其花と採
て面薬に合は

白華 葉ハ

沢深し似て小
其形鷲飛り
似り根は慈姑
乃しく小園根
あり水をま

江サ土 水

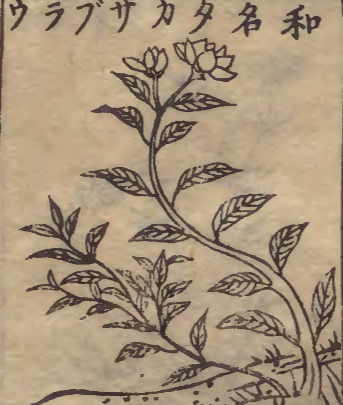
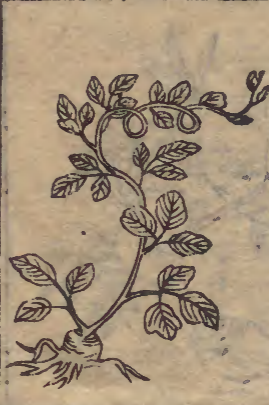
の池は生は焼心
草に似て三角
織て席とよみ
薩島七島ヨリ出
改三七島ト席ヲ
名ツク

鯉腸 昂

蓮草下濕の
地にれり二種
あり葉柳に似
光澤ありて馬
齒煎し似る一種ハ
桔梗と似る

陰地 葉ハ

主月苔に似る
莖紫色花小
穂とかな微
葉細辛に似る



穀精草 穀田

の中に生は葉
葉とよみ青
根花並に白色
一名戴星草
と云ハその葉細
よ花白く圓に
星と似る故し

曲節草 四月

苗と生は莖
節あり七八月
花とよみ苧荷
と似る子と結

馬鞭草 春苗

と生して根牙に
似る又莖母
葉一して莖圓
と抽て二尺三四穂

葶藶 苗と

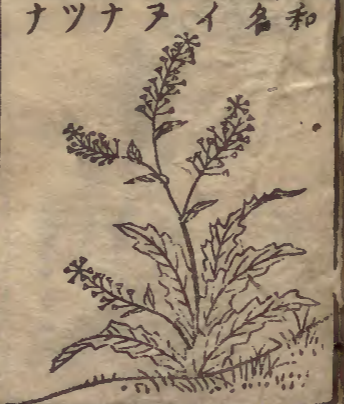
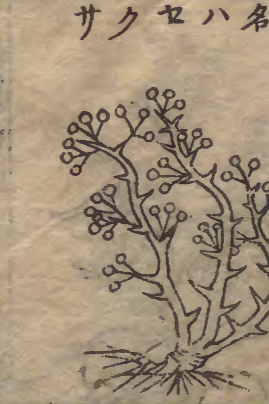
生は葉の高六寸
寸三月葉心と
開く角にして
扁小黍粒の如
立夏の後採るこ

海金沙 初生

して小株と云
ち二三人七月
採て日中よじ
低とよみ乾く
其妙と低よ

蛇含 土石

の上或は下濕の
地に生は莖五
又七葉ありわ
葉細く花葉
と佳し



青箱子 苗長

一三四尺葉洞
柳に似り茎ハ
青紅色莖高ハ
一七七月花を
用く上お下白
一びわり

敗醬 叢

生一花葉色
根紫色葉胡
似て陳敗豆醬
の氣わ故イ
名は白カ
トモト云

續斷 甚衆

茎似て莖方
葉お射に
花白く茎子
わらひらく根ハ
大藪の

火炭母 莖赤

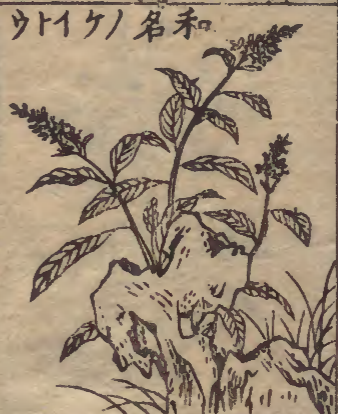
一七葉ハ細
葉多葉ハ似て端
尖夏夏白と
ひらね秋實ハ
わりて豆のと

海根 山谷

一生一莖わ
馬藜ハ似て根
葉葉ハ似く小

草綿 此草

秋花とく實の皮
裂て綿と出れ
てつひとて布
此草ハ胡桓武
延暦十八年三
命入漂著中
此草ハ似て諸
種ハ似る永禄
年申
再の種とて今



龍葵 葉
圓く花白く実
牛李子乃如
生ハ多く熱
一煮てハ合
一



玉不留行 葉ハ
尖小一匙
の又攪葉
一似るわり四
月花といわ
い葉ハ莖ハ
生レ



筆頭菜 春初
花と生レ其形
葉ハ似る
接續草の未
葉の出る
いつ



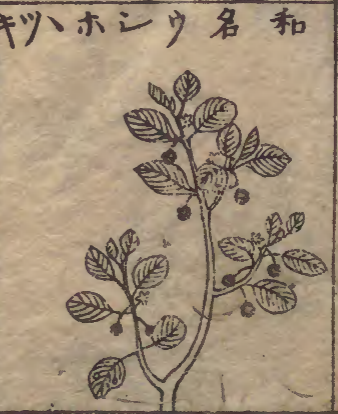
天名精 夏秋
枝と抽て薄荷
の葉ハ紫白
して葉ハ松菜
の如く小
香ハ氣蘭ハ似



次明子 苗生
一七高三四尺
六七月花を用
黄白色其子青
绿豆の如く
似る



連翹 苗生
一七枝長楡葉
の如く莖赤く高
三四尺くら
葉ハ秋実の
又一種蔓セ
物



コバタフマ 名和



シクツ 名和



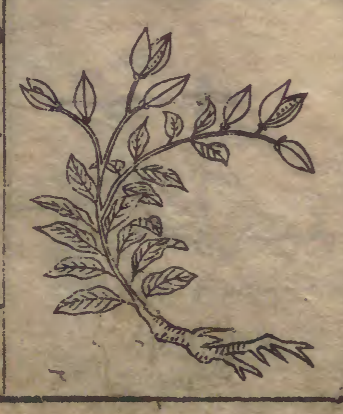
マシチクキ 名和



キツホニウ 名和



木草 二種
木ハ本



木草 二種
木ハ本

燕子花

水生花 六月に
又白むもあま
いそ形の似たりと
いへ燕子花
和名カキツバタ



眼子菜

六月に水生花
中に生れ葉を
あく此月ばふさ
柔滑うて細長
散入り湯を滌
晒乾し鹽醬に
拌てらるハ
燈鷺兒 二月



浮菖蒲

生れ六月七月に
りて湯を滌
晒乾し再の泡
鹽醬に拌食
生も亦よし



燈鷺兒

二月に水生花
これとよく洗ひ
うらち香油椒
塩に炒て
くらを



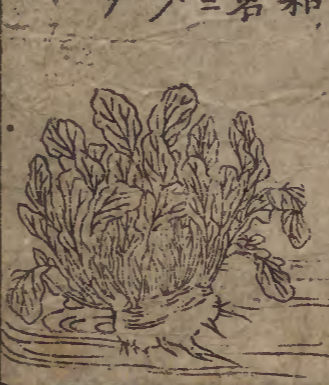
牛尾温

深水中に生れ葉ハ
髪の切く葉ハ藻
のこし冬月魚
こ和して煮食
夏秋もよし



水菜

秋水中に生れ狀白
菜に類と香油
椒塩をうらに
くらを



我鳥兒腸

地中 就て叢生して
長尺葉節を對
葉生れ葉間分
て枝と生れ白
花と用く苗葉
食へ



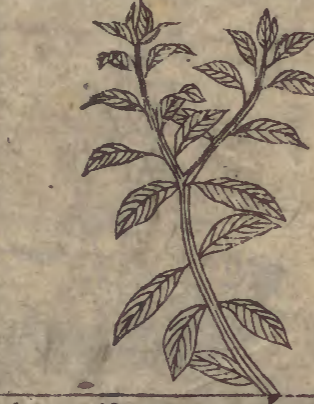
首首宿

二月 苗と生れ一叢
数十莖夏及ひ
秋入て細葉
花と用く小莢
と結て實あり



地瓜兒

苗の 高二尺餘莖方に
四稜わり葉薄
若に似て微長
苗根ともよし



蕺菜

山隱 湿地に生れ
蔓生うて莖
葉赤赤色葉
乃形喬麥の如
うて微少



碎米薺

田北 多し葉をちと
いらく白む
つて小思のり
わすれし人
合し瓜を人



糖牛兒

田野 の中に生れ莖蔓
細弱紅紫うて
五瓣の小紫むと
のさ莖葉と結
上は葉ありて
海の



生凡菜 苗長

一して叢とけん
一と三四寸夏の家
白花と用く細
実と併ふ其味
生凡の氣か



甘磨孤草 一名猪

花本と玉中と煙と
采淋とそく時を
菰と生凡形ハ大
小極あり
一名肉草 又雞腿



雷聲菌 夏秋

雷の後の後
中に生凡磨茹
の味も亦
お似



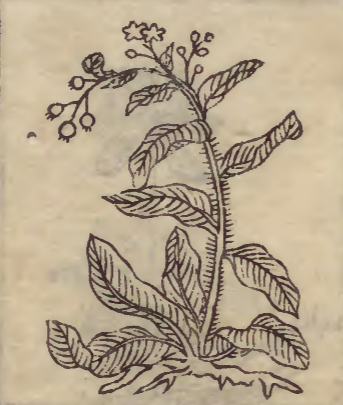
狼毒母 苗葉

高陸及大葉に
似り莖の上り
毛わり四月むと
いらさ八月実
と結ぶ



莖若子 苗莖

高三三尺葉比葉
に似り四月花
と開く葉色あり
莖に白毛わり
五月実と結ぶ



烟草 一名

相思草 又
地とつ朝鮮
人南草と名つ
煙花 烟酒擔
不帰とよし



和名タバコ

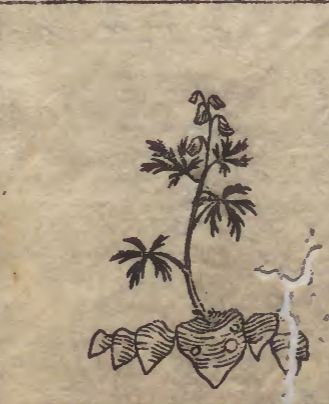
大黃 春初

苗と生凡苳麻
似て根ハ芋乃
四月実
花と用く一種
大黃あり



附子 鳥頭

天雄附子 側子
四品都てこれ一
程苗の高三四尺
以来莖四稜葉
艾の如く紫碧
色あり



牙子 昂

狼牙し苗地合
に似くわつ大
一係緑色根黒
一て獸の歯牙
の如く故一かつ



茵芋 苗長

一して三四尺莖
赤系石櫛
似て種く厚く又
石楠に似り四月
細葉と用く



大戟 春お

芽と生一長一七
叢とたれさ一
入る葉初生
の柳に似り三
四月実さむを
いらく



續隨子 苗ハ

大戟の如く花も
ま大戟に似
葉中に幹と
抽く実とみ
実ハ仲あり



鬼臼 葉ハ

莖と生じ 莖葉の
一葉二兩岐ありて
年々一莖と成る
莖枯て一白と成る
花赤き莖ちかり



蚤虫休 苗葉

王孫鬼臼と似り
六月葉紫赤と
同く葉赤黄色
上金線ありて
下葉赤くし



海芋 苗と

生じて高四五尺
大葉芋の如く莖
と抽てむと用く一
辨蓮の如く碧
色し 大毒なり



土紅山 高と

七八尺葉枇杷
に似て毛け
秋白花と生じ
粟粒の如く



攀倒甌 莖

春夏葉の如し
研搗て冷まし
に浸し汁を
後り投じ熱
盛に煩渴と治す



葶麻 此の

毒と解け
いと大毒なり
人々後れ
と吐利やまに



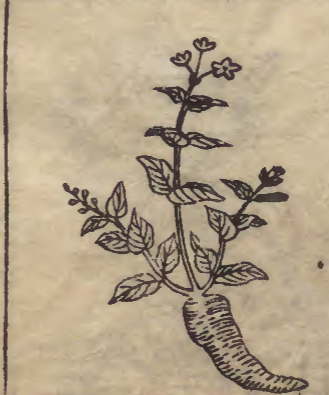
防葵 葉ハ

莖と似て莖とに
三葉一かた敷莖
わり中に一幹有
其莖は花と用
て葱の如く白



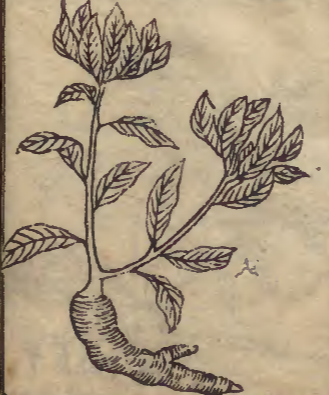
蘭 苗葉

大戟と似て花黄
色根蘿蔔の
如く皮黄肉白
初め時汁出て
瘡に塗るべし



坐墊草 六月

紫花と似る
実と殆ど其苗
と似てお撲
の傷と治り



水車草 春苗

と生じ莖青色
葉楊柳の如く
水際と生じ
六月十月八



甘遂 苗ハ

澤漆と似て莖
短小して葉に
汁あり根皮赤
く肉白又草
其莖あり苗葉
莖麻の如く



芫花 二月

子に毒あり
らく葉は白
似る葉は赤
皮層を擦ると赤
腫れ大毒あり



和名イヒサレユナクサ

和名シニゲン

半夏 二月

苗と生一葉一
三葉浅緑色
願竹葉と似て
光わり一種羊
眼半夏あり

和名カラスノハ



葉と生一葉一
三月根葉
とより丹の福
の土人風病を
治れ



曼陀羅 高二

三尺緑莖碧葉
八月白花と開く
狀牽牛と似て
大に實と結て
圓なり

和名サアセツテ



紅花の如く葉
刺あり根ハ小
蘿蔔に似て
枝條直にのり
三四月実を
生れ



劉寄奴 系ハ

蒲公英のくくむ
なり又一種柳葉
のくくわりわり
とらしてそのけい
畫具の生臘脂と
はましく血とむ

和名ヲトギリソウ



野蘭根 叢

生て高さ二
尺くわ四時葉
あり花を
その根とむ



半天回 春苗

と生は高二尺餘
赤褐色冬
至て苗葉を
枯る夏月
これとむ



兔兒傘 荒花

のみに生は
苗三三三人
莖を出し
生れ傘蓋の
乃とむ淡白



小兒群 叢

生高さ一尺くわ
春夏生長して
花を冬枯
其根とむ用



蘭蒿 苗高

二尺餘莖幹
似て葉細長
鋸齒葉莖
と布て生は
葉とむ食



菩薩草 江浙

近京にあり
名二と名
其汁との
研て



野落籬 二三
月ノ葉ハ葉ノ過
湯ニ過シ過
と塩ニ和
とらら



百乳草 莖
葉ハ俱ニま
松ノ葉ノ如シ花
三月ノ苗
生一四月ノ長
に



建水州 枝葉
桑ニ似テ四時常
にあり福州
出ツ土人葉
と焙乾末ト
なリ用ト



露筋草 春苗
と生一隨テむ
と用ニ子ト結ム
四時凋ル其
子碧色トり
時ナ



獨脚仙 春苗
と生一秋冬
至テ葉落つ其
葉圓上五月
下葉其脚四
五寸夏根葉と



石消遙 冬夏
常ニあり花ハ
実ト亦多く
常州あり
とらら



催風使 天台
山中に生ル苗
葉冬夏常に
まリ其葉と
とらら
入ル



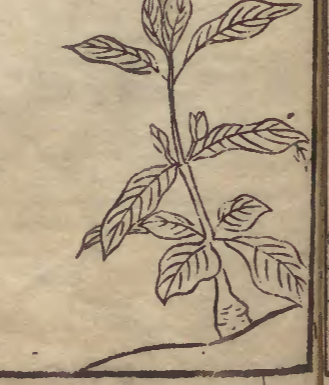
藜藜 二月
苗と生一葉初
出ル椽心に似り
莖ハ莖ニ似テ白
青色上に皮
わり裏の莖椽
皮ハ花ハ色ニ



百藥祖 天台
山中に生ル苗
葉冬夏つに
青一土人の
葉と冬と



大木皮 其高
下大小豆らら
四時葉わりて
花々其皮
と用ト



百兩金 苗の
高三八寸幹わり
て木乃加冬凋
まリ葉地面便
にまり葉実と
結テ後背色ニ
花碧色実豆の



烏藍 鳥ハ
大ナり村人大
と呼ぶ鳥とん
此菜但宜く
熟食すハ



都管草 苗生

二月二天より葉
土當飯に似て根
着活に似たり三
八月に根とら



黄燎郎 天台

山中に生に苗
葉冬夏常に
青し土人其根
とより薬入



黄花草 春

三月葉と生し
三月に至ても
あり 棘菜花
に似く 葉色
秋実と借入



無心草 三月

花と開き五月
実とむす六
七月に根と
とりし



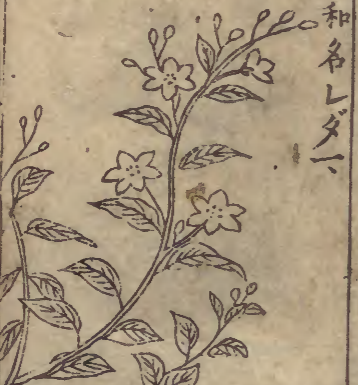
茆質派 葉

赤く花白し七
月より信弱
の土人とりく
風腫と治れ



鷹爪 花葉

色赤鋭て葉の
似たり 柳
子樹 連花
に似たり 小樹
む用て香し



刺虎 葉

冬と凌て周と
なりしに時
り根葉枝幹
ともに用ひ



芥心草 蔓

生うて白色
根ハ黄色四月
苗葉とより
もちめ



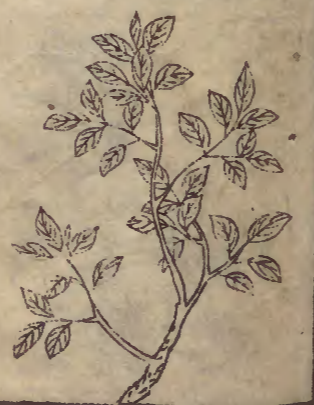
苦介子 苗の

高一尺より枝
枝葉莖青色
葉柳の
白花と開て楡
葉に似たり乃
子ハ黒色かり



布里州 葉の

高三四尺葉ハ
杏に似て大に
夏に花さるん
して
実が



此紫金牛 葉ハ

茶の如く上緑に
下紫に實圓く
紅して丹朱
のし根ハ微
此紫色し



子午花 一名

赤く夏に入
用く必日午
のし根ハ微
此紫色し



胡蘆 枝葉

小蘆に似たる葉
一枝七葉花三
出つ苗とれく
搦て飯茶と
同熱て丸と丸

其 瘧 兒 人 家

國中多し
其 瘧 兒 人 家
根は附子と
石 棗 兒 野 圃

石 棗 兒 野 圃

多く生れ葉々
薤子似て冬も根
また根ハ水仙の
て 氣 味 〇 味 ね
類 され 根 味 ね

望 江 南 荷 の

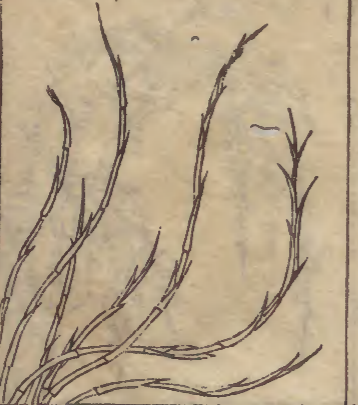
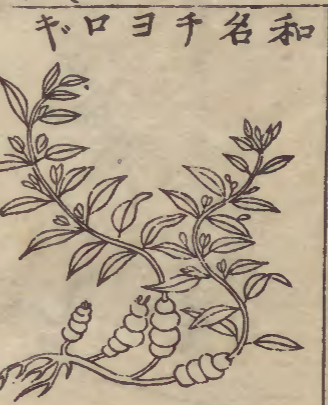
言さ二人と
長 極 多 しく
細 大 し 葉 毛 多
ひ 角 と じ
す 小 三 寸 作 じ

白 屈 菜 田 疇

よ 生 げ 苗 の 葉
二 三 人 葉 葉 白
色 莖 毛 刺 あり
摘 取 じ 又 分 ち
葉 毛 と ひ け け
紫 八 山 林 葉 子 似

竹 科 藤 蔓

抽 け 地 と 被 け 枝 葉
竹 皮 の 毛 刺 あり
竹 皮 の 毛 刺 あり
竹 皮 の 毛 刺 あり
竹 皮 の 毛 刺 あり



杜 葶 山 其 苗

高四五尺葉ハ
苦蕒菜に似
秋紫む
と開く実杓杞
の毛刺あり

華 澄 加 春 夏

葉と生し青滑
梧桐子に似
八九月

麥 季 花 小 子

食へ

竹 葶 竹

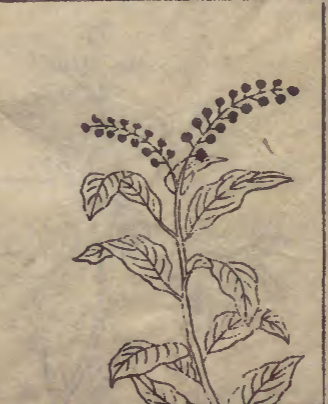
の 葉 毛 刺 あり
肉の毛刺あり
又竹

雷 丸 竹 の

葉の毛刺あり
乃如く葉の毛
刺あり

夾 竹 桃 花

陽 旭 あり



茶の類

迎春花 臘月

芙蓉と開く根
枝上子落して生
了りしきして
うくはく有り
まをす

金糸桃 桃の

加うて心よ黄
鬚わりて花弁
に浦敷しき
金糸の如くこ

木香白花 三種

あり英白紫三
色
糕
へ

刺桐花 葉ハ

野薔薇の如く
茎子刺多し
たハ玫瑰の如

香

玫瑰 花ハ

薔薇と似て枝
刺多し花上香
氣あり四月了
いらく糕と名

寶相花 薔薇

子較止ん乃ホ大
う七千瓣心
とさく大紅と
粉色との二種
あり



イハウワ名和



和名ヒマウマキ



和名
ハニ
ナス



ラハイウコセ名和

笑靨花 木の
高四五尺くろり
春たて開く小
細うて粉采
の

郁李 木乃

高五六尺枝葉セ
皆李の如し惟
子小く梅桃乃
加く赤く味酸

錦帯花

薔薇の形小花乃
形れく色粉
紅うて嬌なり
乞と屏に離り
植て玩し供に

茶藨花 藤

身あり茎五月
刺多し花開て
香微く清

金櫻子 叢

生薔薇と似て
刺あり四月白
と開く秋子と結
子も亦刺あり
形柘榴に似り

波斯菊 一名

西番菊甚と
久しうとく乃
子地におつと
昂生し復も
とす



ケカハス名和



和名ニリムメ



和名ハコウツギ



和名
キクイハラ
コマラキ



ラハイフヲ名和
ナニイハラ
シクレイハラ



木綿 樹の

大い抱 糸桐 秋入て花と雨く 山草むの 実と猪小中不 白珍あり 布のつら

吉利子樹 葉ハ

野桑葉は似く 小く春白むとひ 朱して甜 和名ウケヒスノキ 俗ニナツハセト云

木半夏 樹の

高六七尺人葉棠梨 似て園く尖る 實ハ圓ありて 梅桃のこころ してとるに及

酸棗 其木

高数丈徑圍一 二尺木の理極 細密して色 其核仁や色 色丹の

山茱萸 木の

高丈餘葉ハ榆 似て花白 子熟して赤色 九十月実を

蔓荊 高

四五尺葉は刺 して枝と生れ 夏花は白 色莖葉白色 秋子と瑞ふ

木綿



吉利子樹



木半夏



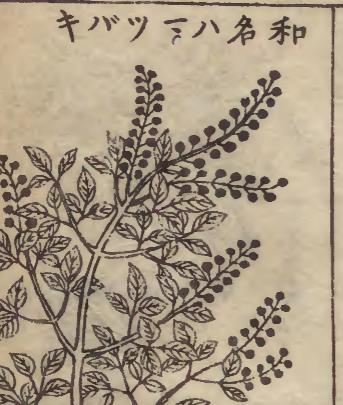
酸棗



山茱萸



蔓荊



賣木子 株

の高五七尺春嫩 枝と生れ葉尖 長一四五寸む と雨くむと生れ

椿 二木

の形幹大抵 相類は椿木 實して香く 標木ハ疎し 臭

珊瑚 葉ハ

山茶の如く小く 木の高三四尺 子赤くして冬 相類は臨海

瓊梅 臘月

小むと雨く葉色 蜜瑞ふ似る 名はくく木の 形はわらわら 六あり陰むなり

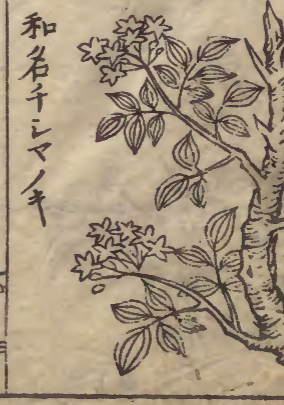
文冠花 樹の

高丈餘葉ハ 榆に似て枝小むハ 藤むに似て色白 實と猪小 中子并餘顆を 含ふる

蜜虫 木の

高丈餘葉ハ冬 青く似く厚く 背白色毛わら 花 微紫色色

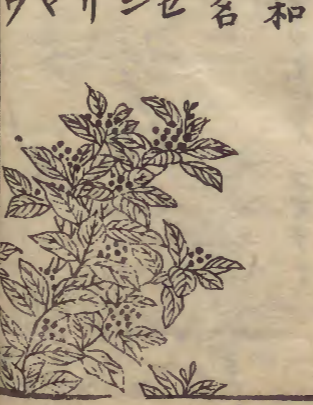
賣木子



椿



珊瑚



瓊梅



文冠花



蜜虫



憶

木華
おもむくを須と
其多からず
うに一実赤
一以枚と萬
年枝と
凍まの類し



棠梨子 三月
花と開く白
隨て實と結
其味酸く
澁るる



橙

樹
橘に似て葉大
其形橘より大
して香わつ實
久しくあふ人
家園中



棠梨 葉ハ
蒼木に似たり
花白く実と結
て小棟子の如
く



檳櫚

林檎
の類かり実大
梅ルニ木凡とい
ふれず之を製
して代用する
功わり故人の考



醋林子 其木
高丈樹枝條
とらる三月花
とひらく白
四いらに九月
実とむす



無花果

山花
人家の園中
うの果の形葡萄
菊に似て長く硬
く枝葉の間
果と生れ初ハ
熟して樹子の如
く色ハ紫赤と
す



菴摩勒 木の
高二丈枝條甚
軟に葉多く細
密朝開へ暮
に歛る三月花
用て栗米の



龍荔

三月
小白むといわ
実多熟は肉味
粘眼と同



椰子 木ハ
枕棉に似て高
数丈子木末
ゆり大
瓢の如く枝間
に密れ



櫻桃

樹ハ
さうらうの春初白
花と開て実の如
きと一核とす
数十顆
五按すといわ
人の考とす



欝榔 木乃
高五七丈正直
小て枝カ皮
青桐に似り葉
木願生に其
實三房とす



開子桐 花葉

實の味甚く
吐きひ多し植
油とて利あり

波羅得 或云

白木のひわり油
とて利あり

拙業元ニ此説非不
今江州ニアルモ公即
聖子桐ナリ波羅木
ヲ本州ニテ考ルニ
白木ニテラス此圖
ヲ考ヘテ江ノヨリ
来テウエシ生シマス
クシテ油ヲトルナリ

波高維蜜 樹の

高五六丈冬凋
花を食むわり枝
同く生れ冬冬似
のくまの皮を栗
毬わり五六月熟する
肉を
ありて櫛のとく餅

血竭樹 木乃

高散丈葉様

似て三角なり

其脂液木中

より流るる満膠

の如くくして

阿魏 西蕃

及び崑崙らつふ

或云い脂を毒を

その附し羊と狗ト

よりてをより狗

の脂羊より狗

死はしと狗を

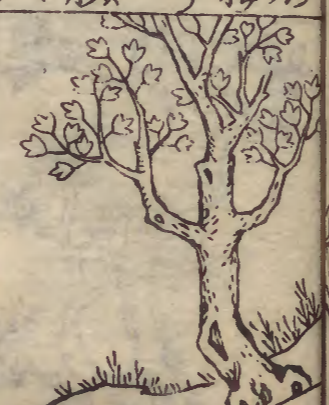
今ハ度より狗

茶とやして餅

かしてつらと

龍腦香 婆律

樹の正れ氣を



藤黄 樹と

海藤と名づく
真臘の人刀と
以て枝を研ぎ汁
をとらば
今畫家ニ用ル藤
シロウコレナリ

没薬 樹

櫟に似る木の
膏液結ひ
塊とならん

盧會 波斯
國に出つ令廣加
より来る者あり
其木より
脂涙の満るて
かき一取なり採
に時月

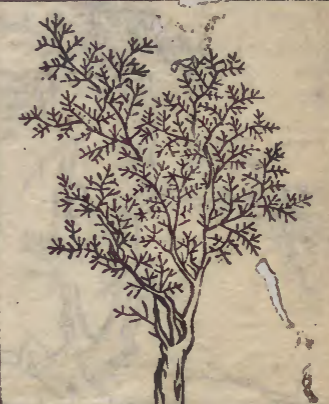
菌桂 葉細
とくろく老澤あり
三條あり
白ニ色し葉細
して枇杷葉の如
くあり又その
荷は似らあり和
ふし所とあり

月桂 葉桂
と似て皮より
辛熱くると
花も赤と
るる清き
乃後ろり
天竺桂

丁香 木の
大竹葉様
似て冬凋
葉は細黄色
子枝葉の上
に出て銀子
此葉をたり



側拍 葉側びよと以て
名は三葉と云ふ
ひらき実と後
圓葉斤と云ふ
ものおとあつへ



橙 葉の二種
わり一種は葉を
して棒に似たり
小田疇とて氏
用は利あり



沉香 木に
節多く葉楮に
似たり花白く子ハ
楨楸に似て大
桑の如く水より
沉むものと上と



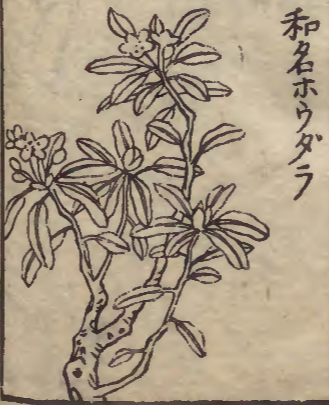
茶梅 白と
粉おとの二種あり
土月むく用て
久しく而たり
世ニ山茶花と云ふ
アフリカ山茶花ハ
和ニツバキナリ



降真香 番国より出川香
蕪方木に似たり
是と諸香は和七
焼ハ鶴と感
神と降



海桐 葉ハ
手の大乃切皮
棒の如く白皮に
して堅く繩と
して用たり



扶移 江南
山谷に生じ樹大
枝十圍わり風無
して葉うみけり
詩經に謂唐棣
之華あまなり



烏藥 葉微
圓小して尖て三
角とあり面青く
背白く五月
黄白の細花と開
六月実と結ぶ



蘓方木 樹ハ
根は形とむ黄
く子黒く
人
絳色と
隆心



檄攪 木ハ
木槵に似たり
秋の晩に實を
家産し其木
と槵と作て攪
魚比自浮出と云



杜仲 木の
高数丈葉率
衰の如く葉厚
く葉は
りて内は白絲
と云



楸樹 木
大小わり大なりハ
琴瑟に似たり
葉ハ楸桐と云
白むと云はく
和名ニサキ



蘇末麩 樹ハ

椶櫚子似て葉離
披ひ葉衣の形に
木皮中に白粉あり
蘇と申して命入玉
人呼ぶ葉麩と云
蜀兵交趾あり



和名コシタシ

烏構木 樹の

色漆黒體重堅
緻送ねとあて
とらへ葉ハ五角
と似たり
性毒と解け



樺木 樹ハ

山桃に似たり木ハ
小斑點あり皮厚
して軟柔皮匠
家ハ用て鞆の裏



猪苓 土乃

底ハ生皮皮黒く
塊と云は形猪
糞に似たり也
名は一名地
烏桃



和名カシノキ

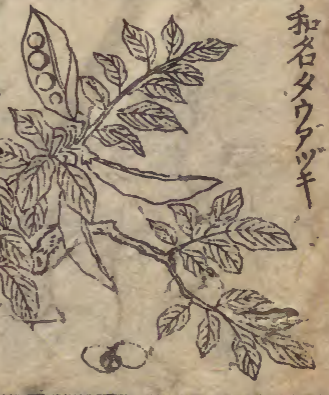
訶梨勒 樹ハ

く子ハ楡子に
似て葉黄色皮
肉相多く七八月
實熟す



相思子 樹の

字ハ大餘葉ハ槐
に似て花ハ紅
似たり葉ハ緑
子あり半截云
ありとれと云
腥香と収れて乾
らむ



和名タウツキ

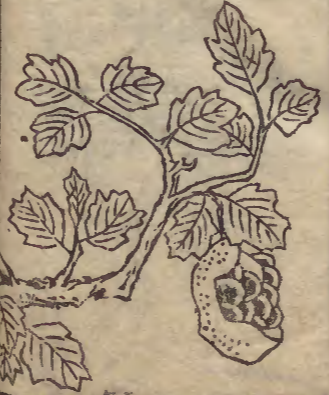
巴豆 木の

高二丈葉楸
桃の如く厚く
大ハ四月を發
て五六月實と
結ぶ



大風子 大樹

の子狀 椰子ま
しくみて圓なり
其中に核あり數
十枚中の仁白色
くくせんと他を
結ぶ



樺 樹大

高く葉ハ柳樹の
如く葉ハ楸
似て葉長し冬と
葉ハ紫を色に
葉の類はつら
とらむ佳なり



和名ケマキ

楠 樹大

小ハ葉桑の如
其材性堅く水
子希うと云故に
船日造
木くくくくくく
と云るあり



唐土訓蒙圖彙卷之十三

名下
和名

禽獸

此物ハ山川林池水原の畜すべし
とりてその肉を食すべし

嶽鳥鷹

此鳥多ク國語ハ周のむらり
岐山よりくるといへり



世樂鳥

南方より出つて其狀五色
丹蒙赤首ハ冠あり王者明德あり
天下太平なる時あり



白く白鳥冠
わく足の指
鴛鴦は似く
ひろく足
まきまき
ひるま大
小あり



白鴛鴦
鴛鴦の類なり
その色白く
形ハ鴨より
つらみ
うしろ
うしろ
うしろ
うしろ
うしろ

善高く飛
て居る似く
その色蒼白
なり目相
敷く孕む
吐て子と
うむ



水鳥鴨
水鳥鴨
長頸赤目
紫紺鴛鴦
鶺鴒
鶺鴒
鶺鴒
鶺鴒
鶺鴒

鴛鴦鳥
鴛鴦は似て
白く人似
て白く鴛鴦
と似る
風く水
はく船
首は逆
石鴛鴦なり



鶺鴒
鶺鴒
鶺鴒
鶺鴒
鶺鴒
鶺鴒
鶺鴒
鶺鴒
鶺鴒

鴛鴦
鴛鴦は似て
指か一羽
文わり鴛鴦
鳥は隅
く畫を
御



信天翁
信天翁
信天翁
信天翁
信天翁
信天翁
信天翁
信天翁
信天翁



雁

水鳥雁乃屬長頸綠色其羽素似其羽素一種狀也乃一種稍大足短指前似也



非羽羽平

非羽羽平似魚狗之似之稍大なり水色に居て魚と云うか或ハ冠有灰色ハ前脚朱なり或ハ玉ハ非羽羽平後



蒿桂

蒿桂似麻雀之似て黒色つゝ一羽高の間ニ在る故ニその名あり之と食て諸佳なり也美なり



突厥雀

大ニ鳥の如形雌雄一羽後趾あり尾の如きものなり



嗽金鳥

昆明國出の形雀を加く色黄魏の明帝の時本國に真珠と名稱と知ん常ニ金屑をく



鴉

形ハ雀に似て尾長一好々葦の皮と削て其中の肉と食ふ四月の間多



黄鳥

形鸛鶴に似大ニ毛羽黄色に尾ニ思ふ相も似る皆黒く嘴尖り脚も日なしてのうさひとよわ

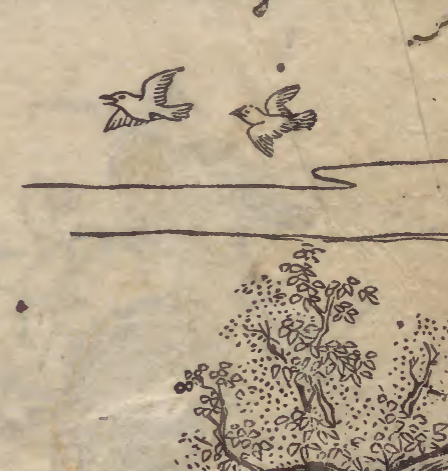


繡眼兒

形小く月白然月から色多如し色多き相を



此鳥下... 高く... 故に射候... 務... 此... ず... 非...



正... 正ハ... 鴉鳥小... 飛と疾... 射... 故... 布侯... 盡... して... ぶれと... 射...



氏... 大... 黒色... 方池... 菰... 中生... 人の... 其... 故... 射... 吐...



鴉... 此の... 鴉... 目... 似... 屈... 纏... みの... け...



反舌... 五月... 至... 及... 百鳥... 効... 舌... 石...



杉... 形... の... 黄... あり... 赤... 杉... 樹... の... 上...



鳴... その... の... 赤... 御... 火... 一...



青... 鳥... 鳧... 身... 赤... 子... 孫... 一...



華雞

冠青毛赤
鮮明背腹
侗赤雉子
のこぐみ
先十二章
を五が地



鷓鴣

雉類七
大々黒色
首々毛角々
冠のゆい
性を堂と
むしとと
すふて死
といふ



鷓鴣

鳳鳥ひんがう
神鳥かみ
郁離子うりり曰
南方神鳥
わり五彩
て鳳
の飛と
がん



鷓鴣

鷓鴣けいこ
不祥の鳥
を魚ういと
たけ状小
のこぐみ
の家あり
挿入此越ニ
イハサレ



當扈

そのこら
け子のぬ
て尾ハ
芭蕉はしやうに似
たり人食
とんハ
目
ろる民



潔鉤

そのこら
鳥のこら
尾ハ龍りゆう
似たり
な
の
とん



精符

神農かみの
女メ娃ワと名
けく昔むかし海
に遊あそび溺な死
一化ひと七しち粒
衛ゑいとる方
に山やまの木石
と收とく東海
と填つると云



立月耕

そのこら
糖とうのこら
白しろ家や自みづか首かぶ白
尾おしハ七しち度ど
禦ごへしと
鳴なると月
るふ
なり



芸窓日記永く讀耕の傳と書冊を托して宰予と學ぶ
 とく然らざるあり桑樞と啓て入る寒暄畢て後札上の冊
 稿と稱して閑禽書にのりてとて掩て嘆く且怪て日
 今此圖の如きものありお人論ありて未だ圖とあるもの多し
 多しと云ふも多しと云ふも亦彼大鵬の如きものありて未だ圖とあるもの多し
 王所探て圖に今ある載るは遠志の如きものありて未だ圖とあるもの多し
 将疑しと云ふと閑禽書に請ふ其後と閑禽と稱して予佛を
 曰く余何れ必大鵬と云ふや夫鸞鶴の禽也と靈秀り
 して聖代よ出て岐山よかく譬へ人中の聖賢を云ふこと
 大鵬の禽中の怪物也海に出る九天と高く於人中有り
 中壯老と云ふも一に流皆去誕荒唐たり故に今吾を
 屏に疑ふと閑禽書の質の知れぬくして未だ圖とあるもの多し
 ともとの世の希有よして閑禽に地と云ふてありて未だ圖とあるもの多し
 是も亦閑禽の窮理の一助なりとの況又王折も知く
 圖すれよわんも閑禽も亦閑禽すよとの況又王折も知く
 かりと云ふも閑禽も亦閑禽すよとの況又王折も知く

擣杓

獸の至て
 烈者一團
 と好ん死も
 うつん状ハ
 虎の毛
 の長三尺余
 虎爪日米天
 八尺人と食



羆

虎の屬
 立秋の月小
 獸と交れた
 柳文曰羆
 ハ虎といふ
 虎ハ羆を
 畏ると云ふ
 といふ



豹

豹の類
 猛獸なり
 國よ此詩
 經曰獻其
 皮陸機曰
 豹ハ虎より
 或ハ熊に似
 たり



赤豹

赤豹
 蒼山多
 虎といふ
 采あり毛
 赤毛詩
 宣王の詩
 赤豹黃
 罴



海豹
その毛は
のり毛に
五色の文
あり水陸
をわたり
るる一匹の
豹と云ふ
時水今
和名アラスカ



海豹
状牛の如く
して角を
一足ひき
りて歩む
其皮を
取て之を
鼓と云ふ
骨と櫛
を骨と櫛
なる百里
ふさふさ

海牛
その長さ
丈餘あり
角は七
尺の長
なり尾の
点々あり
乃ち人
と云ふ



海牛
その状水
牛の如く
毛は白
く尾は
黒く其
皮を取
て之を
鐵と云
ふ

水犀
犀に殺種
山犀三角
水犀三角
一角をて
通天の靈
と云ふ者
と云ふ者
と云ふ者
今犀は一
角をて珠
甲をて水犀



水犀
西南夷の長
毛牛、牛に
似て四足
赤毛の長
尾あり
其皮を
取て之を
犀と云
ふ

野牛
嶠過山に多
一状野牛の
角長三尺餘
馬蹄を似
身の重なり
其皮を



野牛
状水牛の如
く体は多力
しく尾は
解膝尾背
胡下黒毛を
其皮を
取て之を
野牛と云
ふ



赤狸

西海あり
周文王乃
姜里子因
散宜生を
と欲し人
逐て西伯
の難と
すねる



風狸

風狸は
のくくく
馬若と尾
一を伏て
秋の風より
樹よりあ
うつとる能
るのくく
うりとも
凡とくく
れくくく
れくくく



大狸

陰山は獸
あり狀狸
のくくく
蛇と合ふ
其音猫の
くくく
狐とくく
と禦へ



新

胡大は狐
似しくと
思くとも
新の故に
干杯意あり
君子皮と
水衣つと
ありと



乘黄

西海の外
白民國あり
自身髪と
被り狀狐
のくく其
上角あり
これ乘り
壽二千歳



玄貉

玄貉は
穆天子
と得て河
すつ周礼
のくく
死此地氣
るくく



狡

玉心は歌
犬の狀
新の文牛
乃角あり
犬の舌あり
に目あり
あつとつ
天下あり



黒狐

北山は黒
あり神獸
王者能太
平と致つ
は獸われ
四夷来貢
周の成王
時いれ



鹿しか

鹿茸の類
うく木に上る
鹿のあそと
必鳴て鹿は
背ておけむ
鹿茸より毛
長く足物の
くま



茶百札

その状鹿よ
似ておれ
よく毒草
とらふよ
又一種ハ状
鹿よ似てお
けむおれ
一類ハ合し
一類ハ合し
一類ハ合し



西方れ獸

なりと狀
鹿よ似て
後の兎し
一名ハ
恐り
癩



鹿鼠

大さ牛の
こく飛ハ
鹿よ似て
脚ハ象
似て蹄を
踏く毛は
灰赤毛濁
お尾上白
色カカ
てま



挑後

鹿よ似て
尾長く角
ひらあり
えと天禄
とに両角
辟邪の
一名扶枝



鹿王

鹿よ似て大
なり其尾ハ
鹿と辟く
茜帛を
中に巻え
歳一とて
も赤色と
黠とて



狀鹿の如

雄ハ黄子雌
銅鉄と
昔呉王
の武庫ハ兵
器とあり
後中御後
名漢より



碩鼠

飛ハ兎よ
似て眼赤
く赤
白く赤
とて鹿ハ
交し白
和名
おらう



天馬
馬成山
獸あり狀
白犬の如
ろくは
人との如
くは
は獸と
豊穰し



知也狗
犬國
いけり
は似て
く身あり
尾ま
長人
一名拂
馬鑑
哈吠



猛狗
南山
犬
毛
彩光澤
あり
細
な



木狗
犬の如
毛
の如
皮
毛
氣血



觀
天門山
あり天
流
生
凡
野雷
光電
ひ



當庚
欽山
獸あり
豚乃
其鳴
自ら
天下
大



諸
單張
あり狀
のめ
鼻牛
目直
とれ
少



兼
狀ハ
黄身
白首
白尾
大
尾



猛棍

熊明クマノの山

子獸コノケモノあり

狀シテ顔シテ赤シテ

毫シテあり

鼯鼠クヌネなる

一

鹿蜀

扭陽キョウの獸

あり狀シテ馬ノ

白首シテ

虎文シテあり

尾赤シテくち

人此シテ皮ノ子

好シテ明シテ子

小月

南海ノの外

あり狀シテ馬ノ

の如シテく

色シテあり

あり

獸下馬

此ノ海ノ南

極ノあり

極ノあり

小ノ切ノえん

のりノて樹ノ下

にシテあり

狀シテとシテれ

名シテにシテく

和シテ云



腫疎

常ノあり

獸ノあり

馬ノ首ノあり

角ノあり

石ノあり

錯ノあり

一

鹿蜀

駝ノ子ノ似ク

馬ノあり

あノり

舊ノ中ノの

産ノする

わノり

乃ノ奇ノ

山驢

角ノあり

角ノあり

角ノあり

角ノあり

角ノあり

角ノあり

角ノあり

海驢

狀シテ野ノの如

林ノ下ノあり

のりノて樹ノ下

にシテあり

皮ノあり

てシテ馬ノ具ノと

名シテにシテく

和シテ云



羴

西方の野
羊狀羴の類
其角甚大之
夏の晴塵
羴の角上
よみて若と
生じこれと
ほく三つと
をとせ凡



羴

羴山羊
わり状羊
より七尾ハ
るのト
羊の大
あ
脂
羴
無
羴
羴
の如く
以て色
黒し其性
頑
毅
人



寛政九丁巳年

同七月

具終奇

志父

乙未

和書門
類
二七九〇號
八七函
四架
一一冊